

第4回成田市公設地方卸売市場運営審議会結果概要

1 開催日時

平成25年12月18日（水）13:30～15:00

2 開催場所

成田市飯仲42番地2
市管理事務所2階 会議室

3 出席者

（委員）

岩澤貞男会長、渡辺博光委員、江川直彦委員、千葉泰夫委員
小宮山四郎委員、伊藤竹夫委員、篠原圭助委員、神谷隆一委員
大崎和也委員、越川治夫委員、石井宏尚委員、磯野徳子委員
日置久恵委員

（事務局）

根本秀行部長、高田順一場長、大谷敬忠主幹、小倉博文主査
郡司芳己副主査、野嶋仲晃副主査

4 議題

「成田市場の今後のあり方について」答申（案）

- ①成田市場の将来性について
- ②廃止した場合の影響について
- ③整備手法のあり方について
- ④水産棟の跡地利用について
- ⑤管理運営手法について

5 議事（要旨）

前回の運営審議会の会議録と答申（案）を配布。この案に対し各委員が意見を述べ、検討を行いました。

I 検討した内容

- ①成田市場の将来性について
- ②廃止した場合の影響について
- ③整備手法のあり方について
- ④水産棟の跡地利用について
- ⑤管理運営手法について

上記①～⑤については、全員一致で承認されました。

II 審議会の判断

- ①成田市場の将来性について

以下の戦略により、青果、水産物各部門における取扱高の増加は十分に見

込めると変更し、全員一致で承認されました。

- 戦略1：信頼できる地元食材を、地域に暮らす人々に提供
- 戦略2：新鮮な食材の提供を目的とした、常設販売・業務用市の開催
- 戦略3：空港に近接した特性を活かし、成田地域産品の海外進出を目指す

以下の記述中「下総台地」を「北総台地」へ変更することにより、全員一致で承認されました。

青果部卸会社の目標取扱高20億円は、青果部ピーク時の約50%であるものの、現卸会社による出荷者への信頼回復の取り組み、冷蔵施設設置などの流通インフラの整備及び日本有数の肥沃な下総台地の農産物を大量に集荷することより取扱高の増加は十分見込める。また、検討された戦略が順調に推移した場合の効果、取扱高3億円増についても順調に推移すれば妥当である。

- ②廃止した場合の影響について
- ③整備手法のあり方について
- ④水産棟の跡地利用について
- ⑤管理運営手法について

上記②～⑤については、全員一致で承認されました。

別紙修正された答申（案）のとおり、全員一致で承認されました。

6 傍聴

傍聴者 1人

7 次回開催日（予定）

平成26年3月25日（火）